

第13期

田川飛翔塾



田川地域未来の地域リーダー育成プログラム
活動報告書

目次

01 講義、グループワークの内容

02 塾生の感想

03 講師紹介

04 アンケート結果

概要

01 田川未来の地域リーダー育成プログラム「田川飛翔塾」とは

田川地域未来の地域リーダー育成プログラムは、地域で活動をされている方々の実体験を交えた講義・体験活動・グループワーク、他の中学校の生徒とコミュニケーションを図り、志を高め合いながら合宿生活を通じて、切磋琢磨しながら主体的な大人になるための心構えを学びます。

自分の住むふるさとを愛し、将来リーダーとして先頭に立ち、様々な分野で活躍したいと考えている中学2生（義務教育学校：後期課程8年生）を対象とした人材育成事業です。

02 主催

田川地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

（田川市、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、福岡県）

03 後援

福岡県教育委員会

04 プログラム企画・運営・報告書制作

一般社団法人Local Education

05 開催期間

令和6年8月17日（土）～20日（火） 3泊4日

06 会場

瀬じいの森ほたる館

プログラムの内容

月日	時間	内容	詳細
8月17日 (土)	9:30 10:00 13:00 14:20 15:50 17:20 20:00	・入塾式 ・オリエンテーション ・接遇研修 ・講義① ・講義② ・講義③ ・トークフォークダンス	・実行委員会会長からの挨拶があり、塾生代表宣言を実施 ・目的・身につけてほしいことを学び、ワークショップを実施 ・人間性を磨くために必要なこと、課題解決の思考法を学ぶ ・松尾製菓株式会社 顧問 松尾利彦氏 講義 「人生計画表を発表しよう」 ・福岡県立大学人間社会学部 教授 佐野麻由子氏 講義 「地域社会学の観点で地域の強みと弱みを分析」 ・田川産業株式会社 代表取締役 行平史門氏 講義 「課題解決力をつけるには」 ・様々なテーマで塾生や大学生と対話を実施
8月18日 (日)	8:00 9:00 13:00 18:00 20:00	・グループワーク説明 ・グループワーク① ・グループワーク② ・BBQ ・作文ワーク①	・グループワークを実施するうえで大切なことを理解 ・一般社団法人Local Education 共同代表理事 青柳考哉氏 「ショート動画で漣じいの森をPRしよう」 ・7世代CAMP 代表 日高将博氏 「竹を使って子どもたちの遊び道具を作ろう」 ・漣じいの森のキャンプ場をお借りしてBBQを実施 ・「自分はどうなりたいか」を考える作文ワークを実施
8月19日 (月)	8:00 13:00 14:00 17:00 20:00	・グループワーク③ ・プレゼン講習 ・プレゼン作成① ・中間発表 ・作文ワーク②	・コーディネーター 北政氏 「自分が解決したいと思っている社会課題について考えよう」 ・プレゼンテーションの仕方、発表する内容について ・「私たちが考える理想の社会」というテーマでプレゼンテーション作成 ・3日目で考えた内容をプレゼンし周りからのフィードバックを受ける ・昨日の作文ワークを経て更に自分の将来を深掘りしていく
8月20日 (火)	8:00 13:00 13:30 14:30 16:00	・プレゼン作成② ・振り返り ・最終プレゼン ・卒塾宣言 ・卒塾式	・昨日の続きを実施 ・3泊4日の振り返りを実施 ・「私たちが考える理想の社会」というテーマにて最終プレゼン ・「田川飛翔塾を経て、自分はどう生きていくのか」を全員の前で発表 ・3泊4日の全プログラムを終了



1日目 (8/17・土)

仲間と出会う。田川飛翔塾の目標を持つ。
講義を通して課題解決について学ぶ。

今年で13年目を迎えた「田川飛翔塾」。田川市郡の中学2年生(義務教育学校:後期課程8年生)の23名が赤村・源じいの森にて3泊4日を共にする仲間と出会いました。

出
会
い



入塾式では、田川地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の会長から挨拶がありました。その後の塾生代表宣誓では香春思永館の秋吉音希さんが「積極的にチャレンジをする」ということを宣誓してくれました。



オリエンテーションと接遇研修では「田川飛翔塾」での目標の設定や、グループでの活動をしました。

理
解



「人生計画を完成させよう」
松尾製菓株式会社 顧問
松尾利彦氏

講義とワーク実施していただきました。1分間という短い中でスピーチする大切さと難しさを学びました。



「地域社会学」
福岡県立大学 教授
佐野麻由子氏

地域資源をどのように活用するのか、逆転の発想で弱みをどのように強みに変えていくのか検討をしました。



「夢見る力」
田川産業株式会社 社長
行平史門氏

課題解決のために、具体的なゴールを設定し、「実際に実行していく」ことが大事だと講義をしてくださいました。

初日の夜は、対話を通して自分自身のことを理解する「トークフォークダンス」を開催しました。「好きな食べ物は」という簡単な質問から、「大切にしている価値観は?」という少し難しいテーマまで幅広く対話をしていきました。



2日目 (8/18・日)

体験活動を通して「課題解決」の方法を知り 行動し続けていくことの重要さを学ぶ

講師の先生方からお題を出してもらい、そのお題に対してグループで解決していくグループワークを行いました。雨にも打たれながら一生懸命ワークに取り組みました。



講義で作成のポイントを押さえました

「ショート動画で源じいの森をPRしよう」
一般社団法人Local Education 共同代表理事
青柳 考哉氏

若者も多く使用しているSNSという身近なツールを活用して課題解決を行いました。魅力的な動画の構造を理解し、「伝えたいこと」を明確にしてグループで一つの動画を作成しました。



塾生が作成した動画はこんなのだ♪



源じいの森公式キャラクター
「源じいさん」

分析

体験



竹でシーソーを作りました



「竹で子どもの遊び道具を作ろう」
7世代CAMP 代表
日高 将博氏

全国で散見される「竹害」と子どもの孤独の問題を解決するための課題解決を行いました。自分たちで竹を切り、みんなで遊べる道具は何かを考えながら、おもちゃを作成しました。

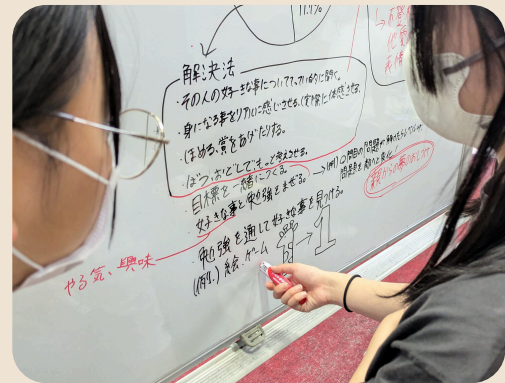
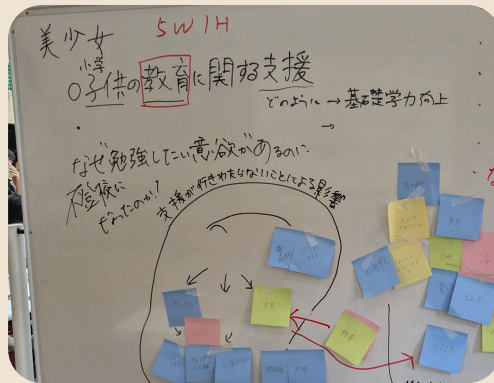
最終日には「田川飛翔塾を経て、自分はになりたいのか」という作文を発表するために、改めて自分の目標と、今まで学んできたことと、今後どのようにして過ごしていきたいのかを考える時間を夜に設けました。



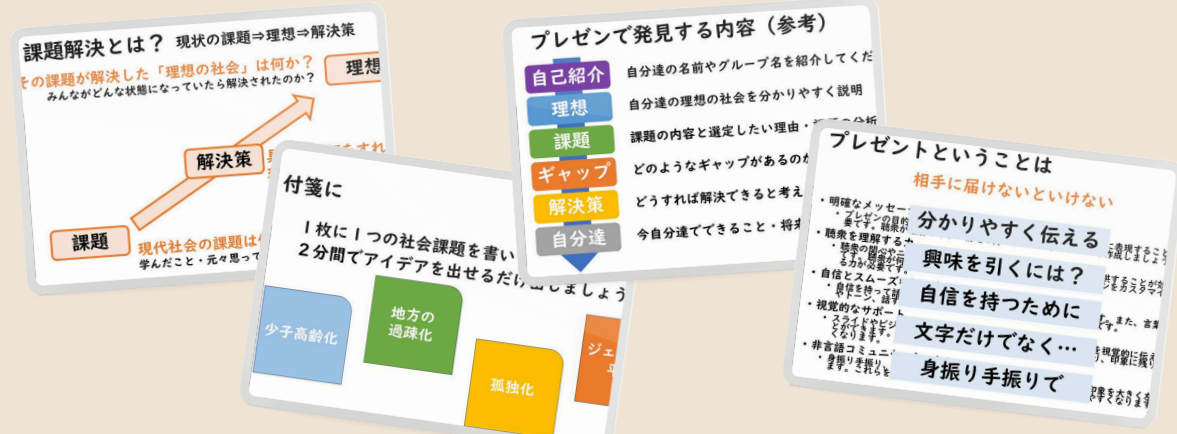
3日目 (8/19・月)

身近な「社会問題」に目を向け どのように解決していけるか検討する

身の回りの社会問題を洗い出し、自分たちのグループとして一番解決したい課題を決め、どのようにすれば、解決に向かうのか、課題解決の方法について検討を重ねていく1日でした。



現代社会での「課題」を自分たちの身の回りから見つけていき、その課題が解決された場合の「理想」の姿を想像します。現状の課題と理想のギャップを埋めるものが「解決法」になるということを学びました。この考え方は普段の生活でも役に立つということも学び、「思考法」についても田川飛翔塾を通して学んでいきました。



思考

塾生たちは、前日までは、課題解決には「実行」が重要だと考えていましたが、社会問題を解決する方法を検討する段階に入ったことで、実行することの難しさを学びました。

課題の「なぜそれが課題なのか」という原因を追究することで、解決方法が大きく変わることになりました。その結果、このような課題がなぜ浮き彫りになっているのかを真剣に考えることができるようになりました。また、課題は「身近な問題」であることも重要です。自分自身の問題として解決したいと感じることで、解決方法が大きく異なるからです。

